

带状疱疹

带状疱疹は「水痘带状疱疹ウイルス」の感染によって起こります。子供の頃に水ぼうそうにかかり、治った後も水痘带状疱疹ウイルスは神経に潜み続けています。加齢や疲労、ストレスなどにより免疫力が低下し、潜んでいたウイルスが再活性化することで带状疱疹が起こります。目の周りや頭部・顔面に症状が出た場合は重症になりやすいため直ぐに医療機関を受診してください。



带状疱疹の症状

初期症状

発疹が出るよりも先にピリピリとする痛みや違和感が現れる傾向があり、痛みの数日後に痛みがあった場所に赤い発疹や水ぶくれができてきます。神経に沿って帯状になって現れます。

全身症状

ウイルスは神経節内で増殖し、神経自体に炎症を引き起こすため感覚神経障害だけでなく、運動障害、顔面神経麻痺、視力障害など神経合併症が生じることがあります。



带状疱疹後の後遺症

带状疱疹の合併症として特に深刻なのが「带状疱疹後神経痛」です。皮膚の症状が治まっても3か月以上痛みが続く場合に診断されます。ウイルスによって神経線維そのものが破壊され、炎症を引き起こします。「焼けるような、ヒリヒリする痛み」「電気が走るようなズキンと突き刺すような痛み」などこれらの耐え難い痛みは、痛みで夜も眠れないといった睡眠障害や不安障害など日常生活に大きな支障をきたします。

带状疱疹 Q&A

带状疱疹はひとにうつる？

带状疱疹そのものは他人にうつることはありません。ただし、水ぼうそうにかかったことがなかった方や、ワクチンをまだ接種していない乳幼児などに水ぼうそうとして感染させる可能性はあります。



带状疱疹が治るまでどれくらいかかりますか？

抗ウイルス薬を72時間以内に服用できた場合、発疹や水ぶくれは2～4週間程度で治まることが多いです。皮膚状態が治まっても痛みが3か月以上続く場合は、「带状疱疹後神経痛」の可能性があるので、医療機関へ相談してください。

带状疱疹は何回もかかりますか？

带状疱疹は一度だけでなく、免疫力が低下するとウイルスが再活性化し再発することがあります。過労やストレス、加齢、特に高齢になるほど免疫機能が低下し再発のリスクが高まります。また、糖尿病やがん、自己免疫疾患といった持病が引き金となることもあります。

带状疱疹を予防するには？

年齢とともに発症率は高くなるため、50歳以上の方はワクチン接種も選択肢の一つです。带状疱疹ワクチンは発症や重症化を防ぐ効果が期待できます。

带状疱疹ワクチン



令和8年度の高齢者の带状疱疹ワクチン定期接種を行っています。

対象者

- ・堺市に住民登録のある方
- ・令和8年4月1日～令和9年3月31日の期間に
65歳 70歳 75歳 80歳 85歳 90歳 95歳 100歳を迎える方
※65歳を迎える方（昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生まれ）
- ・接種日において60～64歳の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方（おおむね身体障害程度等1級相当の方）
※身体障害者手帳等、証明できるものをお持ちください。

带状疱疹ワクチンの種類と接種費用(自己負担金)

- ・生ワクチン（水痘ワクチン） 接種回数 1回
4,950円
- ・組換えワクチン（シングリックス） 接種回数 2回（2か月以上の間隔をあける）
1回 11,000円（2回合計 22,000円）

※自己負担金免除について

自己負担金免除に該当される方は、予約時に「自己負担金免除に該当することの証明できる書類」を必ず窓口へ提示してください。

堺市から費用の返金償還制度はありません。

詳しくは堺市のホームページをご覧ください。



接種を希望される方はスタッフにお声がけください。

また、64歳以下の方も任意（全額自己負担）で接種することができます。

詳しくは受付スタッフまでお問い合わせください。

